

大垣・トヨダで建具職人修業

「異国の技」習得励む

建具職人を目指すイタリア人のアツリギ・アレックスサンドロさん(36)は、大垣市青柳町に本社を置くトヨダにある建具やインテリアを扱うトヨダの建具工場に修業に励んでいる。

(一川哲志)

イタリア人・アレックスサンドロさん

アレックスサンドロさんは、イタリアで音楽を学んでいた日本人女性と知り合ってから結婚し、妻の郷里の大垣市に移り住んだ。家具メーカーで働くうち



「毎日が勉強」意欲あふれる

に精巧な作りで自在に空間を仕切る日本特有の建具への興味を深め、今年1月にトヨダに入社。長年、建具製作に携わる大川内功さん(63)らの指導で、15人ほどの職人とともに働いている。

言葉に困ることもあるが、正目などの木材の特質、かななど道具の使い方と手入れといった基本的な知識と技術を習得し、材料に穴とほぞを設けて枠と組子を作り、障子などを仕上げている。

トヨダの豊田繁雄社長は「熱心で上達が早い。イタリアの美的センスで創作してもらいたい」と期待。アレックスサンドロさんは「手作業が多く、心を引かれる仕事。毎日が勉強」と話している。

建具製作の技術を習うアツリギ・アレックスサンドロさん(大垣市南若森)